

永福の本欄

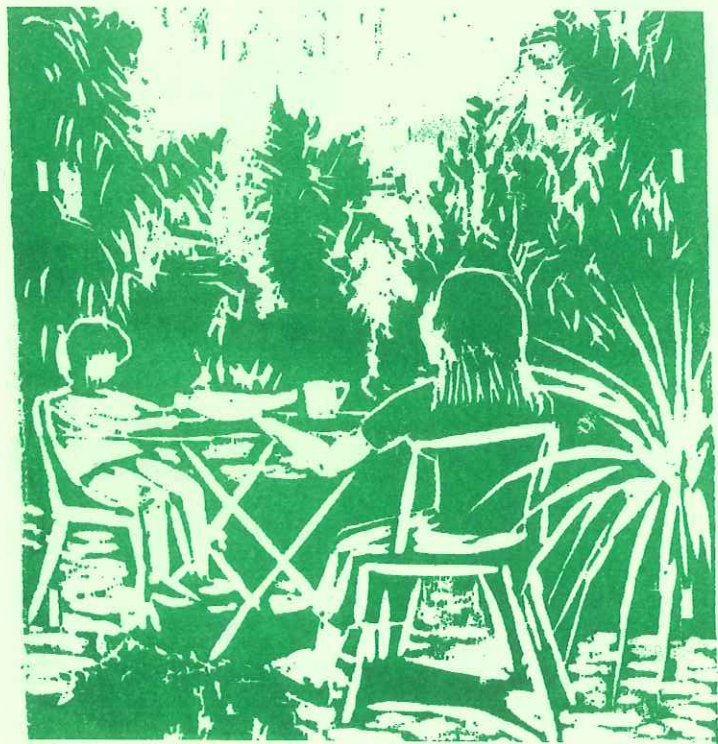
2016年

6月号

【今月の特集】

育てて活用

～初夏のガーデニング～



特集コーナー

育てて活用



～初夏のガーデニング～

『知識ゼロからの食べる庭づくり』

野菜、果物、ハーブたっぷり』

桐原春子／著 幻冬舎

請求記号: 626キ

ISBN:978-4-344-90166-7

本書では著者が実際に行っている庭づくりの工夫を紹介しています。季節の花々を生かしながら野菜、ハーブ、果樹も使い「眺めて美しく、食べておいしい庭」を目指しましょう。



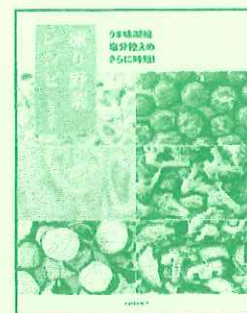
『凍り野菜レシピ うま味凝縮 塩分控えめ さらに時短!』

是友麻希／著 池田書店

請求記号: 596コ

ISBN:978-4-262-13018-7

生のまま冷凍するだけで、凍ったまま簡単に調理でき、塩分控えめでカロリーオフ。さらに冷蔵するよりも長持ち。そんないいとこどりの調理法「凍り野菜」のレシピを紹介しています。たくさん野菜が収穫できた時、役立つアイデア満載です。



『料理に役立つハーブ図鑑』

石井義昭／著 柴田書店

請求記号: 596イ

ISBN:978-4-388-06139-6

食材との相性、ソースや調味料の作り方、ハーブを使いこなすための調理法を紹介します。ハーブに関する基礎知識や、香りを引き出す技術をフランス料理のシェフが教えます。



『フラワーアレンジレッスン 花あしらい上手になる!』

野口美知子／著 誠文堂新光社

請求記号: 627ノ

ISBN:978-4-416-40811-7

花は花瓶に入れて飾るもの…? いいえ、それだけではありません! この本では、花瓶以外にもお皿・コップ・かごなど身近にある道具を使ったフラワーアレンジをわかりやすく紹介しています。お気に入りの花をアレンジして、室内に飾ってみませんか?



新着図書コーナー

『ことばおてだまジャグリング』

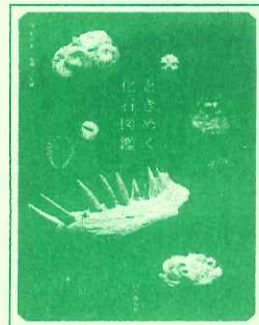
山田航／著 文藝春秋
請求記号:807ヤ
ISBN:978-4-16-390444-3



回文、アナグラム、そして短歌。デビュー以来、数々の賞を受賞している気鋭の歌人が自身のエピソードとともに紹介する日本語の言葉遊びの数々。著者が子どもの頃に遊んでいた「ことばの水切り」は、国語辞典片手にやってみたくになりますよ。

『ときめく化石図鑑』

土屋香／文 土屋健／監修
山と溪谷社
請求記号:457ツ
ISBN:978-4-635-20229-9



化石を時代や分類で23のカテゴリーに分けて解説。美しい写真を眺めるだけでも楽しい本ですが、一つひとつの化石の裏にあるストーリーを知ると楽しさ倍増。ミネラルショーの歩き方や化石採集の楽しみ方なども紹介されており、化石入門にぴったりです。

『47都道府県・温泉百科』

山村順次／著 丸善出版
請求記号:219ヤ
ISBN:978-4-621-08996-5



日本は温泉資源に恵まれ、私達は古くから温泉地を訪れ、療養や保養、観光などで親んできました。本書は、都道府県別に代表的な350余りの温泉を取り上げ、地域の特性や温泉地の特色なども紹介。付録の温泉ランキングも参考になります。

『地方議員の逆襲』

佐々木信夫／著 講談社
請求記号:A(講談社現代新書2361)
ISBN:978-4-06-288361-0



現在の地方議会や、地方議員の実体に対しての問題提起がこの本にはあふれています。また地方創生のための政策提言も盛り込まれており、地方から日本を変えていくという著者の熱意が感じられます。是非読んでみてください。

『親のおくり方』

遺言書、葬式、お墓など、親をおくるときに大切な情報も紹介！

根岸康雄／著 遠藤憲一／[ほか述] ポプラ社
請求記号:914.7ネキ
ISBN:978-4-591-14943-0



遠い日の思い出から親を見送るまでを著名人11人にインタビューした記録です。生き方がそうであるように、送り方も様々なかたちがあり、読むと故人を思いやる家族の気持ちが伝わってくるようです。実用的な遺言、葬式に関するコラムも掲載。

『銅版画家南桂子 メルヘンの小さな王国へ』

南桂子／[画] 平凡社
請求記号:732ミ
ISBN:978-4-582-63503-4



銅版画家、南桂子の描き出す叙情的な作品はみるものを深く静かな世界へ導きます。中でも彼女の描く少女の目は印象的です。この本では主要作品やパリ時代の日記、写真が紹介されています。

えいふくイベントレポート

「新緑 えいふく寄席」

5月15日(日) 午後2時～3時



昨年より、始まったえいふく寄席。2回目となる今回は、杉並江戸落語研究会の方3名にお越しいただきました。若手の甲州亭志猪食(こうしゅうてい)

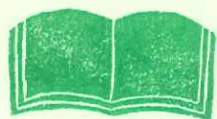
いしいた)さん「千早ふる」から始まり、ご近所にお住まいの女性落語家 事例亭亜ら馬(じれっていあらま)さん「火焰太鼓」、最後は研究会会長の事例亭武蕉(じれっていぶしょう)さん「粗忽の釘」でお開きとなりました。

60名ほどのお客様に囲まれ、1時間ほどの口演でした。終演後は会場に展示した図書を手に取っている方もおり、貸出につながりました。



「身近な雰囲気よかった」「楽しかったので次回も期待している」などのお声を頂きました。大好評のえいふく寄席、来年もお楽しみに！

今月のスポット展示 6/3(金)～7/6(水)



「図書の分類～6からはじまる本～」

図書館は本を分類するために、本の背に請求記号をつけています。新書は杉並区の分類では、請求記号のついていないものもあります。今月は、本来であれば請求記号の最初に「6」がくる新書や文庫を集めました。農業、林業、水産業、園芸、畜産・ペットの飼育、商業、交通、通信事業など産業の分野の本です。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

6月の休館日
2日(木)、16日(木)

杉並区子ども読書月間行事

「えいふく読書ビンゴ 2016」

本を読んだり、クイズに答えたりしてビンゴをそろえよう。

ビンゴがそろったらプレゼントがあるよ♪

【期間】 6月1日 (水) ～6月30日 (木) まで

大人も参加
できます♪

一般特別展示 『「荻外荘」と近衛文麿』～6月9日 (木) まで

荻窪にある「荻外荘(てきがいそう)」は、政治家近衛文麿が、昭和12年から20年に自決するまでの期間を過ごした別邸です。2016年3月に日本政治史上重要な史跡として「荻外荘(近衛文麿旧宅)」が国の史跡に指定されました。

近衛文麿の関連書籍を3階フロアにて展示しております。

一本の取扱いについてのお願いー

水濡れ、汚損、破損された本の返却が増えています。雨が降っている時の取扱いや、飲食物を近くに置かない等、マナーを守って利用してください。借りた本を紛失、破損してしまった場合は必ず図書館にお知らせください。現物での弁償をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

※破損した本をご自身で修理することは絶対にしないでください。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2016年6月号 (通巻228号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。